

日本教育メディア学会  
**学 会 通 信** 第 22 号  
学会ホームページ URL <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jaems/>  
2001 年 5 月 25 日発行

事務局  
〒184-8501  
東京都小金井市貫井北町 4-1-1  
東京学芸大学教育学研究室内  
電話:042-329-7344  
E-mail:shijaems@u-gakugei.ac.jp

## 日本教育メディア学会第 8 回大会の開催校をお引き受けして

大会準備委員会事務局長 三宅正太郎（[大分県立芸術文化短期大学](#)）

日本教育メディア学会において第 8 回大会を 10 月 6 日（土）・7 日（日）の 2 日間、大分の地で開催することになりました。21 世紀最初の記念すべき大会をお引き受けすることになり、大変光栄に思っております。

高度通信技術としてのデジタル化、IT 化が進行するとともに放送と通信とが融合し、教育におけるメディア環境が大きく変わってまいりました。さら、青少年を取り巻くメディア環境に国民の目が大きく引き付ける事件などが報道され社会問題化されています。学校教育の枠内にとどまらず、社会と連携し、広い視野を持ってメディア教育を考えていく時期にきた感がいたします。

かつて、南蛮文化の発祥の地である大分において、21 世紀の新たな文化（メディア教育）の息吹を発する機会を、南蛮文化の象徴である、キリシタン大名の友宗麟の居城および、府内デウス堂に近い上野の丘に位置する私どもの大学において開催できることは、何かを予感させるものがあります。

わが大学は、昭和 38 年に別府の地に公立の芸術系の短期大学が誕生して 40 周年にあたるとともに、平成 4 年に時代の要請にともないコミュニケーション学科と国際文化学科が新たに増設され、唯一公立の芸術系総合短期大学として生まれ変わり、10 年目を迎えます。

キャンパスは豊後富士の由布岳から、高崎山、別府、さらに国東半島が展望できるロケーションです。景色を眺め、研究発表に、パネルディスカッションに、ポスターセッションにじっくりと議論を深め、これからの日本の教育およびメディア教育のあり方を探って行きたいと思っております。

大分は自然が豊かなところで、古来より豊の国と称せられ、山が深く水が豊かで自然の恵みの大変豊かなところです。お酒も魚も大変おいしくて、紅葉の季節と味覚の秋が重なり、過ごしやすい時期です。さらに、県北部の耶馬溪の紅葉や、県南部では亜熱帯の、くじゅうでは北海道のような景色まで楽しむことができます。来年はワールドカップが開催され、九州地区で唯一の開催地となっております。街では開催に向けて盛り上がってきております。また、大分には、ハイパーネットワーク研究所が設置され、高度情報通信社会のあり方について先導的な実践研究の場でもあります。古来の文化と、新しい文化が交差する大分の地にぜひおいでください。自然も、文化も、スポーツも秋の味覚もこぞって皆様のお越しをお待ちいたしております。

## 第8回日本教育メディア学会年次大会プログラムの概要

会 期：2001年（平成13年）10月6日（土）7日（日）

会 場：[大分県立芸術文化短期大学](#)

〒870 - 0833 大分県大分市上野丘東1 - 11

（電話 097-545-4703）

（JR大分駅から大分バス上野線で上野下車、徒歩3分）

本通信第5ページの[地図](#)をご参照ください。

日 程：

10月6日（土）

- |               |  |
|---------------|--|
| 9時00分～        | : 受付開始   |
| 10時00分～12時00分 | : 自由研究発表、ポスターセッション                                       |
| 12時00分～12時45分 | : 昼食、研究委員会会合   |
| 12時50分～14時50分 | : 課題研究Ⅰ「デジタル化によって教育放送は変わるか」<br>: 課題研究Ⅱ「教育におけるバーチャル経験と体験」 |
| 15時00分～17時00分 | : シンポジウムⅠ「メディアの影響と青少年の教育」(公開)                            |
| 18時30分～       | : 懇親会（会場：小田急センチュリーホテル）                                   |

10月7日（日）

- |               |  |
|---------------|--|
| 9時00分～        | : 受付開始   |
| 9時30分～11時30分  | : 自由研究発表、ポスターセッション   |
| 11時30分～12時30分 | : 総会   |
| 12時30分～13時20分 | : 昼食   |
| 13時20分～14時50分 | : シンポジウムⅡ「IT革命社会における学校教育」                                  |
| 15時00分～17時00分 | : 課題研究Ⅲ「メディアリテラシーの意味と可能性」<br>: 課題研究Ⅳ「インターネットによる遠隔教育の現状と課題」 |

なお、自由研究発表と同時にポスターセッション、作品展示を行います。これら3者のうち、1つのみ発表等申込できます。

同封の「日本教育メディア学会第8回大会一般研究発表申込票」では、自由研究発表、ポスターセッション、あるいは作品展示のうち、いずれか1つを、お選びください。

なおまた、自由研究発表（原稿は2ページ）のうち、大会事務局が適当と考えたものは、該当者等とご相談の上で、「課題研究」（原稿は2ページ）に移行させていただくことがあります。

### ポスターセッション

時間を十分に取っ関心をお持ちの方とじっくりと議論を進めていただきたいと思います。

たて2m、横1mのポスターに研究の成果をおまとめください。

なお、発表論文集にも、概要をお書きいただきます。（原稿は、1～2ページ）

ポスターセッション中は、ご自分のポスターの所に待機していただき、ご説明をお願いいたします。

### 作品展示

先生方がお作りになった、教材や児童・生徒および学生の成果物としての作品（ビデオ、CD-ROM、

WEB作品など)を展示することによって、成果を発表いただき、情報交流を図りたいと企画しました。

なお、作品の概要を発表論文集にお書きいただきます(原稿は、1ページ)

自由研究あるいはポスターセッションと重なってお申し込みいただいても結構です。

自由研究発表、ポスターセッション、作品展示等の発表申込締切日とその後の連絡スケジュールについて

- ・ 発表の申し込みの締切日を6月30日(土)とします。  
本「学会通信」に同封した自由研究発表申込票を使ってお申し込みください。  
できるだけ郵送かファックスでお願いいたします。
- ・ 「学会通信第23号」(9月初旬発行予定)で、大会第2報をお知らせいたします。
- ・ 大会プログラムの印刷が出来しだい、大会準備事務局から全会員に、プログラムを郵送いたします。
- ・ 大会準備事務局から、研究発表を申し込まれた方々と課題研究やシンポジュームの登壇者の方々へ、発表論文集の原稿の提出をお願いします。提出期限を8月31日(金)と致します。

#### 宿泊のご案内

宿泊は、以下のホテルを確保いたしております。

これらのホテルは、理事会、懇親会が開催されるホテルおよび隣接するホテルです。交通も至便です。客室に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

- ・ 小田急センチュリーホテル大分 097-536-2777
- ・ ホテルくれべ大分 097-536-3000

シングル：1泊7、200円(通常9、000円のところ)(朝食付き、奉仕料、消費税込み)

ダブル・ツイン：1泊6、500円(2人利用)同室のシングル利用：9、000円

でも利用できます。

上記2つのホテルにつきましては、「日本教育メディア学会に参加」と伝えていただきますと、10月5日、6日、7日の期間中上記料金で宿泊いただけます。

ホテルに直接お申込ください。

#### 理事会、編集委員会、懇親会会場

会場：小田急センチュリー大分(部屋はプログラムでご案内いたします)

- ・ 編集委員会：平成13年10月5日午後3時から5時
- ・ 理事会：平成13年10月5日午後5時から8時

#### 懇親会

場所：小田急センチュリー大分(会場はプログラムでご案内いたします。)

平成13年10月6日(土) 午後6時30分から8時30分頃

#### 大会準備委員会事務局

委員長：吉川 喬(大分県立芸術文化短期大学 教授)

副委員長兼事務局長：三宅正太郎(大分県立芸術文化短期大学 教授)

〒870-0833

大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学内

日本教育メディア学会第8回大会準備事務局

電話：097-545-4703(三宅研究室直通)、097-545-9405(メディア演習室 Fax/Tel)

電子メールアドレス：mmiyake@oita-pjc.ac.jp

## 年次大会参加予定者へのご案内

### 1. 受付

- (1) 受付場所 人文棟1階玄関ホール
- (2) 受付時刻 午前9時より(年次大会両日とも)
- (3) 大会参加費 正会員 5,000円、(事前振込みの場合。当日は、参加5,500円)  
(できる限り事前に、同封の「郵便振替」用紙による振込みをお願いします)  
学生会員 3,000円(学生会員は学部生に限ります)  
臨時会員 3,000円
- (4) 論文集代のみ 1冊 2,500円(送料は別途500円)
- (5) 懇親会費 6,000円
- (6) 年度会費 学会事務局から担当者が参ります。当日受付にてお支払いください。
- (7) 参加章 受付を済まされた方には参加章をお渡しします。会期中は必ずお付けください。

### 2. 理事会

前日(10月5日)17時00分より小田急センチュリーホテル大分で開催いたします。会場などについては別途連絡させていただきます。

### 3. 総会

第2日(10月7日)11時30分より人文棟1階大講義室で開催いたしますので、全会員の皆様のご出席をお願いいたします。

### 4. 懇親会

第1日(10月6日)18時30分より、小田急センチュリーホテルにて開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

### 5. 派遣依頼状

学会参加に派遣依頼状の必要な方は、[申し込み用紙](#)の所定の欄にご記入の上、100円を参加費に加えて、振り込んでください。

### 6. 休憩室

大会期間中の休憩室は、人文棟2階204号教室208号教室とラウンジに設置しています。お飲み物の準備をいたしておりますのでご利用ください。

### 7. クローク

お荷物は、クローク(人文棟1階102教室)でお預かりいたします。お預かり時間は、両日とも8時30分~17時30分までとさせていただきます。ただし、貴重品のお預かりはできません。

### 8. 展示場

書籍展示コーナーを1階ギャラリーに、機器展示コーナーを2階教室に準備いたします。

### 9. 昼食

弁当を予約注文してください。大学の学生食堂は学会大会中の開業はいたしていません。また、大学周辺には飲食店があまりありません。弁当を[申し込み用紙](#)にて予約してください。予約された方には11時30分から12時30分の間、人文棟2階204号教室前のラウンジにてお弁当をお渡しいたします。準備の都合上、事前予約のない方への販売はできませんのでご了承ください。

### 10. 大会本部

人文棟2階国際交流室を本部とします。大会期間中の本部連絡は、大会事務局をお願いいたします。発表取り消しなど、緊急のご用件の際にご利用ください。会場での呼び出しは原則として、いたしません。伝言板を用意いたしますので、連絡・呼び出しなどにご利用ください。お済になりました伝言用紙は直ちに

おとりはずしてください。

11. 送金・連絡問合せ関係

大会をお世話させていただきます本学は短期大学で規模も小さく、また人手もあまりありませんので、連絡等についてはできるだけ、ファックスやメールでお願いいたします。

□大会への参加お申し込みは、同封の「日本教育メディア学会第8回大会参加申込票」により、参加者お一人1枚で申し込んでください。必要に応じてコピーしてお使いください。

□大会への参加お申し込みは、郵送のみにて受付けます。以下の大会事務局までお願いいたします。

**日本教育メディア学会第8回大会実行委員会事務局**

〒870-0833 大分県大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学内 日本教育メディア学会第8回大会実行委員会事務局 電話：097-545-4703(三宅直通 Fax/Tel)、097-545-9405 (メディア演習室 Fax/Tel)
--

□ 申込締切は7月31日(火)です。

□ 同封の「郵便振替」用紙での送金をくれぐれもお忘れなく。

なお、送金先は、同封の「郵便振替」用紙に記されています。事前に払い込みください。

(注) 本年次大会の郵便振替の口座番号、名称は、以下のとおりです。

[口座番号] 01760-0-99287      [口座名称] 日本教育メディア学会

<注意>印刷物としての「学会通信第22号」では、ここに

[会場地図](#)

があります。

## シンポジウム「設定の趣旨」

### シンポジウムⅠ 「メディアの影響と青少年の教育」(公開)

コーディネータ 三宅 正太郎(大分県立芸術文化短期大学)

インターネット放送などデジタル技術の進歩により新しいメディア環境で、国境を超えた種々の情報が、学校に、家庭にと子供たちの身近にやってきて、さまざまな影響を及ぼしつつある。新しい学習能力がつく一方、メディアより送られる情報により社会問題視される事件も発生している。学校教育や家庭、さらには地域社会で青少年を育成する観点に立ち、それぞれの守備範囲で、何をどのように取り組んで行くべきなのかを探ってみる。

### シンポジウムⅡ 「IT 革命社会における学校教育」

コーディネータ 篠原 文陽児(東京学芸大学)

IT (Information Technology、情報技術) は、20 世紀と 21 世紀の橋渡しをするキーワードとなった。これに「革命」が付いたのは、それだけ、IT が社会に与える影響が大きいためであろう。そこには「光と影」が存在し、「グローバル化」「共有」「共生」「デジタル・デバイス」「インディジネアス」などという言葉が注目を集めている。少子化、高齢化という社会構造化の変化の中で、学校教育も大きな変革を求められ、あり方が大きく問い直されなければならぬ。

## 課題研究「設定の趣旨」

### 課題研究Ⅰ 「デジタル化によって教育放送は変わるか」

コーディネータ 市川 昌(江戸川大学)

デジタル情報社会とは光ファイバーによる ISDN、衛星デジタル放送、CATV、既存電話線を強化する ADSL などの次世代情報ネットワークを活用して、高画質、高密度、双方向の情報を学校、地域社会、家庭などに伝達可能とすることである。コンピュータとの相性が良いため、パソコン活用による CD-ROM 教材、DVD、データベースなどと併用すると、従来の放送教育が不可能であった個々の学習を支援するマルチメディア教育が可能になってきた。デジタル化によって情感に訴える放送教育の導入教材としての意義や、教育の民主化、総合的なパーソナリティ形成に果たしたメディアの役割は今後どう変わるのか - 伝達手段の変革が教育の本質や放送教育のあり方をどう変えるかを検討する。

### 課題研究Ⅱ 「教育におけるバーチャルな経験と体験」

コーディネータ 中野 照海(国際基督教大学大学院)

実体験以上に「リアルな」経験をもたらす種々のバーチャル・リアリティ技術による教育の試みが盛んになってきた。これまでの視聴覚教育の課題でもあった、ひな形経験、モッテアップ、シミュレーター、ジオラマなどによる教育の意味を改めて吟味する必要があるように思われる。ここでは、「経験の具象性の意味」、「バーチャル・リアリティの開発」、「経験による代行」などから、教育・訓練の観点から課題にせまることとする。

### 課題研究 III 「メディアリテラシーの意味と可能性」

コーディネータ 小笠原 喜康 (日本大学)

メディア社会の現代、メディアリテラシーは、いま最も重要な学力であるかもしれない。しかしそれだけに、きわめて広い概念でもある。そこで下記の三つのテーマを議論したい。

1. メディアリテラシーとは何か。どのような学力であるのか。
2. これまでの研究と実践にはどのようなものがあったのか。
3. 今後どのような研究と実践が必要であるのか。

### 課題研究 IV 「インターネットによる遠隔教育の現状と課題」

コーディネータ 岡部 昌樹 (金沢経済大学)

インターネットや衛星 (SCS、el-Net 等) の通信技術を活用した「遠隔教育」が、自立、分散、協調、互惠原理というパラダイムを持つサイバー社会に急速に普及しつつある。そこで、映像データベースの構築、高品質映像伝送技術の教育利用、及び開かれた学習環境における学習者の特質とその授業構成、学習指導の方略等、現在進行形の諸問題について討議し、近未来を展望したい。

## 日本教育メディア学会・2001年度第1回研究会

テーマ「総合学習とメディアリテラシー教育」

研究委員会としての取り組みとして、新たに「メディアリテラシー 総合学習カリキュラム・教材開発研究」を立ち上げてはどうだろうかと考え、その第1回として、今回の研究会のテーマに掲げることになりました。教育テレビ番組制作や学校教育現場の経験をもとにしながら、日本の現実をみつめたメディアリテラシーの教材開発を考えてみたいと思っています。

小笠原研究会委員長の抱負：この問題は、外国の紹介はあるのですが、日本できちんと取り組んでいないように思います。外国と違う日本の特徴を出したものを考えたいのです。例えば、テレビだけでなく電車の中吊り広告や街の看板そしてマンガなども視野に入れて、単にメディアを批判するだけでなく、自分たちのメディアへの関わり方を自己反省して具体的な改善提言をする視点も取り入れたカリキュラムと教材の開発を考えてみてはと思っています。

遠方ではございますが、副委員長を仰せつかっています鈴木が、岩手の地でお待ち致しております。ぜひ奮ってご参加ください。

日時 2001年6月16日(土) 午後1時~4時(予定)

会場 岩手県立大学ソフトウェア情報学部

- ・ 最寄り駅：JR東日本 東北本線『滝沢駅』より徒歩12分(1.1km)
- ・ 最寄り駅までの主要経路：JR盛岡駅 (東北本線約12分) - 滝沢駅

会場大学地図 <http://www.iwate-pu.ac.jp/postexam/link05-01.html>

発表申し込み〆切：5月10日(下記問合せ先まで)

原稿送付〆切：5月31日(詳細は追ってお知らせします)

参加費：1,000円(資料代を含む)

問合せ先 鈴木克明(岩手県立大学)

〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字巣子 152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部

電話：019-694-2670(研究室直通) ファックス：019-694-2501(学部事務室)

E-mail: ksuzuki@soft.iwate-pu.ac.jp



## 日本教育メディア学会研究委員会名簿

(平成13年度～平成15年度)

委員長：小笠原喜康 (日本大学)

副委員長：鈴木克明 (岩手県立大学)

<委員>

赤堀正宜 (桐蔭横浜大学)	荒木紀幸 (兵庫教育大学)	今栄国晴 (名古屋音楽大学)
上田信行 (甲南女子大学)	内海成治 (大阪大学)	大河原清 (岩手大学)
浅井和行 (京都教育大学)	岡部昌樹 (金沢経済大学)	川島淳一 (常盤大学)
川本佳代 (広島市立大学)	木原俊行 (大阪市立大学)	清川英男 (和洋女子大学)
黒上晴夫 (金沢大学)	黒田卓 (富山大学)	佐賀啓男 (NIME)
佐々木輝美 (獨協大学)	瀬川良明 (北海道教育大学)	田口真奈 (NIME)
田中博之 (大阪教育大学)	永田智子 (兵庫教育大学)	堀田龍也 (静岡大学)
村野井均 (福井大学)	三宅正太郎 (大分県立芸文短大学)	宮本友弘 (NIME)
山田恒夫 (NIME)		

### 学会事務局からのお願い

下記の会員の連絡先住所が不明で、郵便物等が学会事務局に戻ってきます。

つきましては、下記のいずれの会員に関してでも、連絡先、所属先などご存知の方は、誠に恐れ入りますが、本通信末尾に記されている学会事務局あて、ご連絡いただければ幸いです。

なお、連絡先住所等に関して変更のあった会員は、学会事務局あて、はがき、Eメール等でご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

相磯 栄一	青木 和彦	青木 あゆ子	赤木 匡一	内海 成治	浦田 俊之
大河原 清	岡田 雅樹	沖山 京古	城戸 早苗	榊 正昭	榊原 貴久
芝崎 順司	鈴木 美加	武田 紘一	辻田 有里	西森 章子	日合 光悦
正木 和彦	宮本 節子	矢田 光宏			

### 2002年度(平成14年度)第9回年次大会のご案内

期 日：2002年(平成14年)10月13日(日)、14日(月、振替休日)

会 場：225-8502 横浜市青葉区鉄町1614

桐蔭横浜大学

担当者：赤堀 正宜 (桐蔭横浜大学教授)

#### 日本教育メディア学会 事務局

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学研究室内

電話/Fax 042-329-7344

学会ホームページ URL <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jaems/>

E-メール [shijaems@u-gakugei.ac.jp](mailto:shijaems@u-gakugei.ac.jp)

郵便振替口座 00130-4-103021



## 日本教育メディア学会第8回大会一般研究発表申込票

以下に必要事項をご記入ください

申込日：2001年 月 日

<b>研究発表種目</b>	1 口頭発表、2 ポスターセッション、3 教材・作品展示 (いずれかひとつに 印をつけて下さい。)	
<b>研究題目</b>		
<b>発表者名(所属)(複数の場合、登壇者に 印をつけて下さい。)</b>		
<b>必要機器</b> (発表に必要なものがあれば 印で囲んで下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OHP</li> <li>・ VTR(VHSのみ)・</li> <li>・ プロジェクタ(パソコン等は各自御用意ください)</li> </ul>	
<b>発表要旨(150字程度)</b>		

<連絡先>

<b>氏名</b>	
<b>所属</b>	
<b>連絡先</b>	自宅・勤務先(どちらかに をつけてください)
<b>住所</b>	〒( )-( )
<b>Tel./Fax.</b>	
<b>電子メール</b>	

<注意事項>

本紙につき研究発表1件の申込ができます。必要に応じてコピーしてお使いください。

申し込みは郵送のみにて受付けます。以下の大会事務局までお願いいたします。

〒870-0833 大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学内

日本教育メディア学会第8回大会実行委員会事務局

電話：097-545-4703(三宅直通 Fax/Tel)、097-545-9405(メディア演習室 Fax/Tel)

発表の申込締切は6月30日(土)です。大会論文集原稿締切は8月31日(金)

ですのでくれぐれもお忘れなく。

課題研究発表の企画申込は、電子メールのみで受付けます。

オーガナイザーがとりまとめたうえで、6月30日(土)までに課題名、オーガナイザー・発表者全員の氏名・所属を明記し、以下のアドレスまでお申し込みください。

課題研究企画申込アドレス [mmiyake@oita-pjc.ac.jp](mailto:mmiyake@oita-pjc.ac.jp)

## 日本教育メディア学会 第8回 大会参加申込票

下の の該当する項目のチェック欄に 印を記入し、( ) 内に必要事項を記入して  
下さい。 申込日：2001年 月 日

チェック	項 目	金額(円)	人・冊数	計(円)
	第8回大会に参加します(一般) (年会論文集1冊の代金を含みます)	5,000	1人	5,000
	第8回大会に参加します(学生) (年会論文集1冊の代金を含みます)	3,000	1人	3,000
	追加して大会論文集を申し込みます	1冊 2,500	( 冊)	,000
	大会には参加しませんが大会論文集 を申し込みます(送料込み)	1冊 3,000	( 冊)	,000
	派遣依頼状を希望しません (下記に必要事項をご記入ください)	100	1枚	100
	懇親会に参加します。	6,000	1人	6,000
	10月6日の弁当を申し込みます。	1,000	1個	1,000
	10月7日の弁当を申し込みます。	1,000	1個	1,000
			送金合計	円

<連絡先>

「派遣依頼状」希望の場合

氏 名		所 属 機 関 名・部署	
所 属		所 属 機 関 の 所 在 地	〒( )-( )
連 絡 先	自宅・勤務先(どちらかに をつけてください)	所 属 長 氏 名	
住 所	〒( )-( )	出 張 期 間	
Tel./Fax			
電子メール			

<注意事項>

参加者お一人1枚で申し込んでください。必要に応じてコピーしてお使いください。

申込は郵送のみにて受付けます。以下の大会事務局までお願いいたします。

〒870-0833

大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学内

日本教育メディア学会第8回大会実行委員会事務局

電話：097-545-4703(三宅直通 Fax/Tel)、097-545-9405 (メディア演習室 Fax/Tel)

申込締切は **7月31日(火)** です。

送金先は、同封の郵便振替用紙にて事前にお振込みください。

くれぐれもお忘れなく。